

ささえあい



かわら版

地域名

しょうせい
庄西

人口

820

人

世帯数

354

世帯

自治会数

3

自治会

65歳以上

386

人

(高齢化率) (47.1%)

ひとり暮らし
高齢者数

77

人

第3層生活支援
コーディネーター

3

人

※令和4年4月末現在

ささえあい事業の取り組みの経過

平成28年度にモデル事業として射水市地域支え合いネットワーク事業を実施し、平成29年度から本事業としてスタート、現在まで継続しています。事業を始めるにあたり「庄西地区地域支援計画表」を作成し、課題(ニーズ)、目標、実施内容を把握しました。検討会議を行政、新湊西地域包括支援センターの方々にも相談して今、庄西地域に最も必要な事柄を見据えるとともに、現状のコロナ禍でも出来る活動を行います。



1 地域のすばらしさ & 不安を話しあおう！

地域課題 会議

日時：平成28年12月8日

場所：庄西コミュニティセンター

参加者：50人



いつまでも元気で自分らしく暮らし続けることができる町作りを目指して地域課題会議を開催しました。



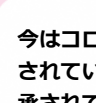
ここが
素晴らしい！

地域のつよみ

ここが
良い！



ご近所どうしの絆がとても強く、年齢に関係なく、助け合うことが自然にできている。



今はコロナ禍で中止を余儀なくされているが伝統の獅子舞が継承されている。



庄西コミュニティセンターには高齢者の方々が集う「喫茶しょうせい」があり、いこいの場となっている。

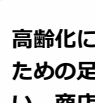
ここは
変えたい...

地域のよわみ

ここは
不安...



人口の47%は65歳以上の高齢者であり、これから先の町の活性化が不安である。



高齢化に伴い、買い物や受診のための足(バスや電車など)が弱い。商店も少ない。



隣接町(高岡市)は近いが他市なので連携が取れない。

わたしたちにできること

コロナ禍であってもフレイルを防ぎ、高齢であっても明るく元気で暮らせる町作りのお手伝い。



様々なサロンを増やしコミュニティセンターや公民館に地域の方々が気軽に集えるような企画を実施。

2 地域づくり 計画表

地域の方向性を
決める、活動の
羅針盤！

課題(ニーズ)

高齢化率が高く、一人暮らしの方が多い。コロナ禍もあり、認知症の方も増え高齢者への配慮と共に認知症について住民全体の理解が必要となってきた。

計画(取り組むこと)

コロナ禍の中ではありますが「フレイル対策」を考えながら高齢者が楽しく元気な日常を過ごせる手助けをしていきたい。「フレイル」とは加齢により心身が老い衰える状態ですが、地域のだれもがいつでも気軽に集える「うみべのサロン(コーラス+軽体操)」、ゲームやコンサートなど様々に組み合わせ、感染予防を徹底しながら、笑いの絶えない庄西地域を目指します。

目標(目指す地域像)

「支える人」と「支えられる人」がお互いに思いやる心の強い「やさしさ」と「あたたかさ」を兼ね備えた地域であってほしいと願っています。

3 やってみました！ご報告

活動事例



みんなと一緒に食べる
と美味しいね！！



「ちょこっとランチ」「百歳体操」
「脳トレサロン」「三世代交流」

2

「ノルディックウォーク(フレイル防止)」
「ケアネットチーム意見交換会」
「地区社会福祉協議会研修会」

コロナ拡大によりコミセン閉館時は脳トレ資料を配布し安否確認しました。





射水市 地域支え合いネットワーク事業

事業の概要

「射水市地域支え合いネットワーク事業」は、地域の皆さんが、いつまでも安心して暮らし続けられる地域を目指して、地域の課題を地域全体で共有し考える、**地域の皆さんによる、地域の皆さんのための事業**です。

子どもから高齢者まで見守りが必要な方たちを、「困ったときはお互い様」の気持ちで、**他人事ではなく我が事として、助け合い・支え合い**ができる地域の**つながり**を作ります。

目指すもの

1 **高齢者の健康寿命を伸ばそう**

2 **要支援者の重度化を防ごう**

3 **見守りあい、助けあいができる地域を維持しよう**



目標（目指す地域像）

**いつまでも安心して
暮らし続けられる地域**



あなたの地域にもいます！

地域での支え合いの仕組みづくりを

「生活支援コーディネーター」が
お手伝いします！

どんな人？

生活支援コーディネーターは、**人と人、人と地域を「つなぐ」役割を持つ人**です。

具体的な役割

● 地域内の各種団体との連絡調整をする
● 地域の**困りごと**（困っている人）を適切な**地域資源**（地域の居場所や福祉サービス）につなげる など。

例えば

地域の**困りごと**（ニーズ）

- 生活の困りごと
- 気軽に集える場所がない
- 住民同士の交流が少ない
- 活動の担い手不足
- 買い物・通院が大変

サービス・活動（**地域資源**）

- 地域のボランティアによる助け合い
- 地域の居場所、集いの場
- 世代間交流の機会を創出
- 地域の人材発掘、後継者育成
- 移動販売車の導入、地域の商店との連携

編集後記

地域支え合いネットワーク事業をスタートさせてから今6年目を迎えています。予想もしなかったコロナ禍は2年にも及んでいます。世の中の様子は一変し、高齢化率の高い庄西地域では先ず、高齢者の方々の“フレイル”予防を考えました。ただ事業を中止にするのではなく、先の見えないコロナ禍で、何とか住民の笑顔を絶やさず元気に過ごしてもらうには、私たちコーディネーターは何をしてあげれば良いのか、何が出来るのかと自問自答しながら歩みを止めず進めてきました。射水市、新湊西地域包括支援センター、地区のヘルスボランティアの方々の協力を頂きながら今後もコロナ禍を見据えながら緊張感をもって取り組んでいきたいと思っています。



境 かほる 佐野 幸子 塚原 春美
第3層生活支援コーディネーター

庄西

地域の担当は…

／私たちもお手伝いします！／

新湊西地域包括支援センター

TEL：0766-83-7171 FAX:0766-82-8283

所在地：射水市朴木211-1（特別養護老人ホーム射水万葉苑内）



射水市地域福祉課

TEL：0766-51-6625 FAX:0766-51-6657

所在地：射水市新開発410番地1